

第15回世界水泳選手権（スペイン・バルセロナ）男子5km 報告書

報告者：鷲見全弘

1) 大会概況

日時：2013年7月20日（土）13時～
場所：スペイン・バルセロナ市内Port Vell
コース概要：2500m×2周
天候：晴れ・風なし・波なし
水温：24℃（推定）

2) 結果

【男子5km】出場54名

順位	氏名（所属）	タイム
25位	小林 勇斗（ミキハウス）	53分48秒0 1位との差 17秒6

3) 戦況

スタート直後に周囲の選手に身体を沈められるなど、序盤からオリンピック（25名）の倍以上の人数で行なわれる世界選手権ならではの激しい身体接触を受けた小林だが、積極的に第一集団に食い込みペースをつかむ。途中、ふくらはぎを掴まれるなどのラフプレーを何度も受けたが、第一集団の巡行ペースに問題なく対応して1周目を終える（第一集団内29位、1位と8秒9差）。2周回目に入ると次第に第一集団に遅れを取り始めたが何とか踏みとどまり、レース終盤、逆に集団に追い付き更に順位をあげて25位でゴールした（1位との差17秒6）。

4) 総括

小林にとって、現有の持てる力を発揮したレースだった。序盤から第一集団に食い込み、途中遅れながらも終盤は持ち前の粘りで集団を追い上げてのフィニッシュとなった。2012年の全豪選手権10km、今年4月のFINAOWSグランプリ15km（メキシコ・コスメル）と同様に、終盤粘って追い上げ順位をあげた。

スピード選手ではないので集団内上位に立つことはないが、常に集団内中盤から下位に位置し、レース後半に持ち前の粘りで脱落選手を食いながら順位を上げる。平井・貴田にはない独自の戦い方ができつつある。地味だが安定した選手になりつつある。

とは言え、課題はベースの泳力強化である。ベースをあげることにより、後半の粘りがもっと高い順位で生かされる。レースを重ねるたびに自身の戦い方が確立されてきているので、根本的な泳力強化を徹底したい。

以 上